

デジタル一眼レフカメラ講座 (その8)

2023年9月5日(火)～ 6日(水)

今年で8回目となる講座は、日本大学藝術学部写真学科准教授 穴吹有希先生を迎えて開催されました。
熱海の起雲閣、MOA美術館にて撮影会が行われました。

枚数を撮って、突き詰める

座学では、基本の構図、カメラの構え方、機能や設定について学びました。講師の穴吹先生は「最近、日の丸構図（真ん中に被写体を大きく映す）は好まれなくなってきましたが、何を伝えたいかがわかりやすく良い構図です。良いものがあったら、兎に角シャッターを切る、引いたり寄ったり、何枚も撮り突き詰めることが大切です」と言われていました。手振れをしてもNGではなく、後から見返したとき、良い写真となることもあるなどと、新たな知見を得ることができました。

撮影会では、思い思いにシャッターを切っていました。同じ被写体を撮影しても、人によって全く異なる作品となっていました。

写真撮影は、個々の感性や視点によって異なる作品が生まれるものです。人それぞれのアイデアや技術が反映されています。朝、早起きされて、朝焼けを撮影するなど、受講者の皆さんは熱意を持って撮影に取り組まれていました。

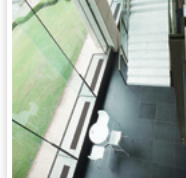
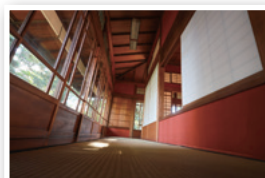
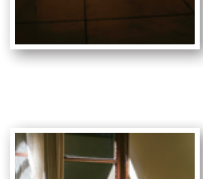
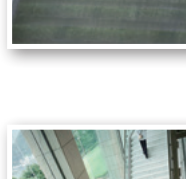
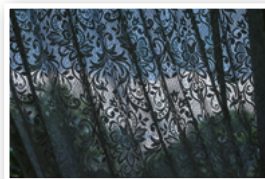
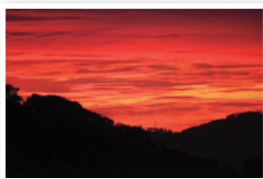
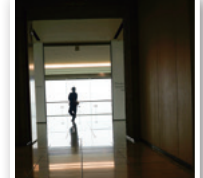
今回も日本大学藝術学部写真学科の3名の学生にお手伝いいただきました。座学や撮影会での質問に丁寧に答えていただきました。また、その一人から「ブレは、心が動いた瞬間」との名言が飛び出すなど、場を盛り上げていただきました。

これからも、講座を通じて、写真撮影の楽しさを共有していきたいと存じます。

写真展「わたしの見つけた瞬間」vol.8

10月23日(月)～ 31日(火)
於中目黒GTギャラリー

誌上写真展



穴吹先生からのワンポイントアドバイス

- ・室内撮影のときは、曇りの天気が良い …… 室内の明るさと風景の明るさが近くなり、どちらも活かせる
- ・四隅に気を付ける …… 撮影後にトリミングするのではなく、しっかりと四隅を意識してシャッターを切る
- ・風景に人を入れる …… 小さくとも人を入れれば、ストーリーのある風景写真となる